

## シグマ研究委員会ファイル作成 ワーキング・グループ会合議事録

日 時 昭和 57 年 6 月 21 日 (金) 13:30 ~ 17:30  
場 所 原研本部第 6 会議室  
出席者 浅野 (住友原工), 飯島 (NAIG), 宝珠山 (FBEC), 吉田 (NAIG),  
菊池, 成田, 浅見 (原研)  
オブザーバ: 青木 (富士), 五十嵐 (原研)

### 配布資料

FM 82-01 57 年度計画  
FM 82-02 JENDL-2 の現状リスト  
FM 82-03 JENDL-2 収納予定核種  
FM 82-04 ファイル作成手順

### 議 事

#### 1. WG の作業方針

このWGの作業計画の概要, WGメンバー等について, 資料1により浅見氏から説明があった。

#### 2. JENDL-2 の現状

JENDL-2 の編集の現状, とくに未編集データの状況について, 資料2を用いて浅見氏から説明があった後, 対処方について検討を行った結果, 次のように処置することにし, 作業を早急に行うことにした。( )内は作業担当者

- (1) 15 MeV までしかデータのないもの ( $^{23}\text{Na}$ ,  $\text{Si}$ ,  $^{181}\text{Ta}$ ,  $^{233}\text{Pa}$ ,  $^{234}\text{U}$ ,  $^{239}\text{Np}$ ) については, 15 MeV の値を 20 MeV までのばす (成田氏),  $^{23}\text{Na}$  についてはこの処置は問題があるが後で検討する。
- (2)  $^{181}\text{Ta}$  の非分離領域の追加 (菊池氏)
- (3)  $^{233}\text{U}$  の file 5 データの追加 (浅野氏)
- (4) Fe, Ni, Cr の 10 MeV 以上のデータの修正及び isotope 毎の file の作成 (Fe: 飯島氏, Ni: 菊池氏, Cr: 浅見氏)
- (5) Gd の isotope 毎のデータは FP file としてまとめる。
- (6)  $^{242,242\text{m}}\text{Am}$  及び  $^{242,243,244,245}\text{Cm}$  の file 5 のデータの追加 (菊池氏)

- (7)  $^{55}\text{Mn}$  については次回以降で検討する。
- (8)  $^{59}\text{Co}$  のファイル化 (青木氏)
- (9)  $^7\text{Li}$ ,  $^9\text{Be}$  の評価 (柴田氏 (原研) に依頼)
- (10)  $^{19}\text{F}$  の評価追加 (杉氏 (原研) に依頼)
- (11)  $^{51}\text{V}$ ,  $^{45}\text{Sc}$  のファイル化 (菊池氏)
- (12)  $^{63,65}\text{Cu}$ ,  $^{237}\text{Np}$  の評価追加 (五十嵐氏)
- (13)  $\text{Hf}$  のファイル化 (吉田氏)
- (14)  $\text{Pb}$  のファイル化 (浅見氏)
- (15)  $^{40}\text{Ca}$ ,  $^{228,233,234}\text{Th}$  のデータのカード化 (成田氏)
- (16)  $^{93}\text{Nb}$ ,  $\text{Mo}$  は, threshold reaction データが神田氏 (九大) から来たら FP 核データ WG に渡して評価データをまとめてもらう。

これらについては, 7 月末完了の目標で作業を進め, 8 月末 - 9 月初に JENDL-2 を公開する予定にした。また, General file と FP file とは分離してまとめることにした。

### 3. ファイル化手順

菊池氏から, 資料 4 を用いて, Resonance Parameter のファイル化, CASTHY 計算結果のファイル化, CRECTJ による修正, CASTHY 使用上の注意の説明があった。また,  $(n, 2n)$ ,  $(n, 3n)$  反応の file 5 作成上の問題についての話があり討議を行った。この evaporation spectrum の扱いについては, 更に, 菊池氏と飯島氏とで検討することにした。また, CRECTJ, CASTHY, NDES 等のマニュアルの作業用ファイルを作成することにした。

### 4. 57 年度作業

当面は未収納核種のファイル化作業を重点的に進めるが, その過程で簡単な目的別の作業マニュアルを作成することになった。次回に更に検討を行うが, とりあえず次のものを取り挙げることにした。

- (1) level density (LDENSN) (青木氏担当)
- (2) RESEND, RESEND, RECENT
- (3) SPLINT
- (4) NESTOR 2
- (5) ENDF/B-IV, V Format
- (6) JOBSSETTER (渡部氏に依頼する)
- (7) NDES-TOTAL (吉田氏担当)

(8) REPSTOR

次回には長谷川氏（原研）にRESEND等について、渡部氏（川重）にJOBSETTER について話をしつて貰うことにした。

また、データ集の作成について提案があつたが、次回に具体的に検討することにした。

次回は、7月8日（木） 13：30 - 17：30 打合せ及び作業

7月9日（金） 9：00 - 17：30 作業

で東海研で行う予定。